

糖尿病合併症研究班



[The Rho-kinase inhibitor, fasudil, attenuates diabetic nephropathy in streptozotocin-induced diabetic rats.](#)

Eur J Pharmacol. 2007 Jul 30;568(1-3):242-7.

[Association of urinary albumin excretion with insulin resistance in Japanese subjects: impact of gender difference on insulin resistance.](#)

Intern Med. 2009;48(18):1621-7.

[Involvement of the Rho/Rho kinase signaling pathway in platelet-derived growth factor BB-induced vascular endothelial growth factor expression in diabetic rat retina.](#)

Jpn J Ophthalmol. 2007 Nov-Dec;51(6):424-30.

糖尿病性血管障害に関する研究

- 糖尿病性血管障害の研究は、分子血管生物学的検討として培養血管平滑筋細胞、腎糸球体メサンギウム細胞、ならびに網膜周皮細胞を対象とし、糖尿病状態におけるシグナル伝達系の変化を中心に研究を展開している。
- 特に今年度は糖尿病性神経障害の発症機転において低分子量G蛋白のRhoが関与することを腎症、網膜症に引き続き新たに確認した。
- 動脈硬化に関しては血管内皮細胞のKLF2が低酸素環境下でHIF1 α の発現を制御する研究が進められ、ノックアウトマウスの検討に及んでいる。
- 網膜症ではPPAR α 作動薬が網膜症の発症機転を阻害するメカニズムを分子生物学的に明らかにし、動物実験に応用を試みている。
- 臨床栄養学的研究は、糖尿病の食事療法、特に腎症に対する低蛋白食の臨床的有用性の検討を中心課題としている。低蛋白食の臨床的有用性、蛋白摂取量の評価法につき、教室独自の研究を確立している。